

2013年6月26日

報道各位

JX日鉱日石金属株式会社
三井金属鉱業株式会社
パンパシフィック・銅工業株式会社

佐賀関製錬所「第一大煙突の記念碑」の完成について

制作者は、東京藝術大学学長・宮田亮平先生

JX日鉱日石金属株式会社（本社：東京都千代田区大手町二丁目、社長：足立吉正）および三井金属鉱業株式会社（本社：東京都品川区大崎一丁目、社長：仙田貞雄）の共同出資による銅事業会社パンパシフィック・銅工業株式会社（本社：東京都千代田区大手町二丁目、社長：足立吉正）は、佐賀関製錬所（所在地：大分県大分市大字佐賀関、所長：和氣 収）の「第一大煙突」（通称「関の大煙突」）がその使命を全うしたことから解体工事を完工いたしました。これを受け、6月25日に記念碑の除幕式を挙行いたしました。

かつて世界一（167.6m）の高さを誇った「関の大煙突」は、製錬所の重要な操業関連施設であると同時に、その雄姿は地元・大分におけるシンボルであり、多くの方々の故郷を想う縁（よすが）でもあり続けてきました。その軌跡を末永く伝えるため、我が国を代表する金工作家である東京藝術大学学長の宮田亮平先生に記念碑「大煙突 天空へ」を制作いただき、大分市佐賀関市民センターに設置しました。天を目指して遊泳するイルカの群れは「関の大煙突」の永続性を表しており、その台座は「関の大煙突」の鉄筋コンクリートで作られています。

なお、「関の大煙突」の跡地には、大煙突の一部（地上から1.5m）を残し、製錬所構内のモニュメントとして整備いたしました。

以 上

【お問合せ先】

JX日鉱日石金属株式会社 広報・CSR部 03-5299-7082
パンパシフィック・銅工業株式会社 佐賀関製錬所 総務部総務課 097-575-3310

【ご参考】

1. 第一・第二大煙突の概要

	第一大煙突	第二大煙突
(1) 煙突の高さ	167.6m (建設時)	200m
(2) 設置場所の標高	126.5m	125m
(3) 設置時期等	1916年(大正5年)12月設置 2013年(平成25年)6月解体	1972年(昭和47年)9月設置
(4) 煙突の内径	8m(頂上部) 11.5m(底部)	7m(頂上部) 12.5m(底部)

2. 佐賀関製錬所第一大煙突 跡地



3. 記念碑「大煙突 天空へ」(東京藝術大学学長 宮田亮平先生制作)

